

保存してご利用ください

戸塚福祉保健センターからのお知らせ

横浜市 戸塚福祉保健センター (戸塚区総合庁舎内) 〒244-0003 戸塚町16-17

2023年 4月～ 2024年 3月

※「戸塚福祉保健センターからのお知らせ 保存版」の情報は予定であり、今後変更になる場合があります。※マークの説明は 保存版② ページの下をご覧ください。 ※令和5年度予算の執行を伴う事業については、市会の予算議決後に確定し、議決がなされないときは成立しません。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況により、実施を中止する場合があります。

横浜市がん検診

☎ 横浜市けんしん専用ダイヤル (☎664-2606 8時30分～17時15分(日曜・祝日・年末年始を除く) ☎663-4469)

胃がん(内視鏡またはエックス線)(50歳以上・2年度に1回):3,140円(保険証持参)、子宮頸がん(20歳以上の女性・2年度に1回):1,360円、乳がん(40歳以上の女性・2年度に1回):マンモグラフィのみ:680円・視触診とマンモグラフィ:1,370円、大腸がん(40歳以上・年度1回):無料、肺がん(40歳以上・年度1回):680円、前立腺がん(PSA検査)(50歳以上の男性・年度1回):1,000円

※次の人は無料

①2024年4月1日時点で70歳以上(生年月日が1954年4月1日以前)の人、保険証持参 ②後期高齢者医療制度加入者(75歳以上の人など)、保険証持参 ③生活保護世帯の人、休日・夜間等診療依頼証持参 ④中国残留邦人等支援給付制度が適用される人、本人確認証持参 ⑤市県民税非課税・均等割のみ課税世帯の人(検診前に手続が必要、詳細問合せ)

実施医療機関(戸塚区)

2023年2月6日現在

Table with 2 columns of medical facilities. Each row includes facility name, address, phone number, and a grid of cancer screening services (前立腺, 胃, 子宮, 乳, 大腸, 肺) with symbols like ●, *, ▲, ◎.

●乳がん検診の「◎」は、マンモグラフィ実施医療機関。「▲」は視触診のみ。 ●胃がん検診の「*」は、内視鏡実施医療機関。 ●受付方法などは、医療機関によって異なりますので、あらかじめ直接医療機関にお問い合わせください。

☎ 健康づくり係 (☎866-8426～7 ☎865-3963(8時45分～17時))

肺がん(区役所) 市内在住・2024年4月1日時点で40歳以上:先着各30人 予約制

🕒 ①5月25日(木) ②7月27日(木) ③10月12日(木) ④12月14日(木) ⑤2024年2月8日(木)

📍 区役所5階【受付時間】午前中(後日案内を送付) ¥680円

📞 ①4月25日 ②6月27日 ③9月12日 ④11月14日 ⑤2024年1月8日から☎で区役所健康づくり係へ

健康診査

糖尿病や高血圧などの生活習慣病予防のため、各健康保険が40～74歳の加入者を対象に「特定健康診査」を実施しています。詳しくは、ご自身が加入している健康保険にお問い合わせください。

40～74歳の横浜市国民健康保険加入者の「特定健康診査」**無料**

対象の人は、特定健康診査を年度に1回無料で受診できます。
4月1日時点で加入していて、2024年3月31日までに40～75歳の誕生日を迎える人(6月30日までに75歳になる人は除く)には、5月中旬(予定)に「特定健康診査受診券」をお送りします。4月2日以降に加入した人や、6月30日までに75歳になる人で誕生日前に受診を希望する場合はお問い合わせください。

問 保険係 (☎ 866-8450 fax 871-5809)

市内在住の神奈川県後期高齢者医療制度被保険者(75歳以上の人など)、医療保険に加入していない40歳以上の生活保護受給者など **無料**

横浜市の実施医療機関で受けられます。直接、実施医療機関に電話で予約申し込みをしてください。実施医療機関などについては、お問い合わせください。

問 横浜市けんしん専用ダイヤル (☎ 664-2606 fax 663-4469)

検査・検診など

エイズ・梅毒検査、相談 **予約制・無料**

【内容】血液検査と相談(匿名) ※結果は翌週水曜の9時～9時30分
☎原則水曜(月2回)【受付時間】10時～10時30分 区役所6階62番窓口

問 横浜市けんしん専用ダイヤル (☎ 664-2606 fax 663-4469)

肝炎ウイルス検査 **無料**

実施医療機関についてはお問い合わせください。
市内在住で過去に肝炎ウイルス検査を受けていない人(ほかで肝炎ウイルス検査の受診機会のある人を除く)

問 健康づくり係 (☎ 866-8426～7 fax 865-3963)

高齢者に関する相談・教室・サービス

問 高齢者支援担当 (☎ 866-8439 fax 881-1755)

もの忘れ相談 **予約制**

「最近、しまい忘れや置き忘れが目立ってきた」、「このごろ気分が沈みがちで元気がない」などの本人の相談に、医師が応じます。「このところ家族の様子がおかしい」と心配している家族のみの相談や、来所できない人への訪問も行います。

☎月1回 ※日程などはお問い合わせください。

もの忘れ検診 **予約制**

もの忘れ検診を実施する医療機関で問診を行い、認知症の疑いを確認します。認知症の疑いがあった場合は、専門医療機関を紹介します。
※詳細はお問い合わせください。

みつけてネット **事前登録制**

認知症高齢者の行方が分からなくなった場合、区内の関係機関にいち早く情報を提供し、早期発見に努める情報提供ネットワークサービスです。 ※詳細はお問い合わせください。

ボランティア(地域人材)による出張講座

「認知症の理解と対応」「はまちゃん体操(介護予防体操)」などについて、会場に向いて講座や体操を行うボランティアを紹介しています。
※詳細はお問い合わせください。

リハビリ教室

脳卒中による後遺症などがある人(概ね40～64歳)で自力で通所できる人を対象に、仲間と触れ合いながら、スポーツ・音楽療法・話し合いなどを通して、日常生活の自立や社会生活が広がるようリハビリ教室を実施しています。(送迎はありません)
※日程などはお問い合わせください。

介護者のつどい

各地域ケアプラザで、お茶を飲みながら介護についての専門家の話や他の人の体験談を聞いたり、悩み事を相談したりするなど、リフレッシュできる会を開催しています。
※日程などは各地域ケアプラザへお問い合わせください。

紙おむつの給付

寝たきりまたは認知症の状態にある在宅の要介護者(要介護4または要介護5及び要介護1～3で各区福祉保健センター長が必要と認めた人)で、属する世帯が生活保護受給世帯などまたは市民税非課税世帯の人 ※要介護度に応じて利用上限基準額が設定されています。

あんしん電話貸与事業

概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者などを対象に、体の具合が悪くなるなどの緊急時に、近隣の人などへすぐ連絡が取れるよう電話機に専用の機器を取り付けます。生計中心者の市民税額により、機器使用料などの負担額が変わります。

困難を抱える若者の相談

問 生活支援係 (☎ 866-8431 fax 866-2683)

若者のための専門相談 **予約制**

人間関係に悩んでいる、生きづらさを感じている、不登校やひきこもりなど、さまざまな問題についてよこはま南部ユースプラザの地域連携相談員などが相談に応じます。

☎原則第2・4水曜午後(1回50分)

区役所6階65番窓口

区内在住の15～39歳の人とその家族

精神保健福祉

問 障害者支援担当 (☎ 866-8465 fax 881-1755)

精神保健相談 **予約制**

【内容】精神疾患に関する相談(精神科医)

☎月2回

生活教室(さつき会) **事前登録制**

【内容】精神疾患がある人たちの社会参加を目指す場を提供します。(レクリエーション、スポーツ、音楽鑑賞など)

☎原則水曜午後

ささなみの会

問 高齢者支援担当(難病担当) (☎ 866-8439 fax 881-1755)

リウマチ患者と家族の会

【内容】リウマチと上手に付き合うための患者交流会(講演、健康講座、簡単な体操、バスハイク、話し合いなど)

☎月1回程度

※詳細はお問い合わせください。

大人の健康相談

問 健康づくり係 (☎ 866-8426～7 fax 865-3963)

健康相談 **予約制**

高血圧、脂質異常症、糖尿病、肥満などが気になる人へ、栄養士と保健師が食事や運動など生活習慣改善のアドバイスをします。

☎原則月4回(火曜午後または金曜午前)

禁煙相談 **予約制**

たばこをやめたい人へ個別に支援します。

☎原則月4回(火曜午後または金曜午前)

訪問相談など

訪問栄養相談 **予約制**

寝たきりの高齢者、そのほか訪問を必要とする人やその家族を対象に、食生活について栄養士が訪問して相談に応じます。

問 健康づくり係 (☎ 866-8426～7 fax 865-3963)

訪問口腔衛生指導 **予約制**

寝たきりの高齢者、そのほか歯や口のケアでお困りで訪問を必要とする人やその家族を対象に、歯科衛生士が訪問して相談に応じます。

問 健康づくり係 (☎ 866-8426～7 fax 865-3963)

訪問理容・美容サービス(カットのみ)

高齢、障害などで外出が困難な人の自宅を、理容師・美容師が訪問します。

概ね65歳以上で外出が困難な要介護4～5に認定された人、そのほか要介護認定があり、介助を受けても外出が困難な人

¥利用券+2,000円

問 高齢者支援担当 (☎ 866-8439 fax 881-1755)

上記以外の障害などで外出が困難な人

¥3,000円

問 環境衛生係 (☎ 866-8476 fax 866-2513)

妊娠・出産期の相談・教室

問 こども家庭支援担当 (☎866-8470 fax 866-8473)

母子健康手帳交付 ※英・中国・ハンガリー・ポルトガル・スペイン・ベトナム語版もあります。

☎月～金曜:8時45分～17時 第2・4土曜:9時～12時 区役所2階8番窓口

区役所5階母子相談室 問 こども家庭支援担当 (☎866-8469～70 fax 866-8473)

妊産婦健康相談 原則月曜(月1回)13時30分～15時30分 予約制

【内容】妊娠、出産、産後の相談
持 母子健康手帳

母乳相談 原則火曜(月3回)13時30分～15時30分 予約制

【内容】母乳、育児、卒乳に関する相談

女性の健康相談 原則水曜(月1回)13時30分～15時 予約制

【内容】不妊、家族計画、避妊法、思春期から更年期までの健康相談

両親教室 原則第2・4水曜 予約制

【内容】妊娠、出産、子育てについての学習と仲間づくり。
区役所5階健康診査室 初産の人 ※出産予定月別に4回1コース

定期予防接種

健康づくり係 (☎866-8426～7 fax 865-3963)

※市内協力医療機関での個別接種です。※横浜市ホームページでも、
予防接種の情報を掲載しています。HP [横浜市 予防接種] で [検索]

横浜市予防接種コールセンター

☎330-8561 fax 664-7296 ☎9時～17時(土・日曜・祝日・年末年始を除く)
予防接種全般の問合せを受け付けます。

成人用肺炎球菌ワクチン予防接種

7月1日～2024年3月31日まで実施します。対象者は横浜市内に住民登録があり、過去に一度も23価肺炎球菌ワクチンを接種したことがなく、年度内に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる人(詳細は問合せ)です。

子どもの予防接種

持 母子健康手帳、予診票(接種券)
※予診票は、定期接種の対象年齢となるタイミングで、個別通知にて送付します(市外から転入した人は要問合せ)。

Table with 3 columns: 予防接種名, 接種をお勧めする年齢(標準の接種年齢)と接種方法, 無料で受けられる年齢(接種対象年齢). Rows include Hib, 小児用肺炎球菌, B型肝炎, ロタウイルス, 四種混合, BCG(結核), 麻しん風しん混合(MR), 水痘, 日本脳炎, 二種混合(DT), 子宮頸がん予防.

(注1) 初回接種を開始した月齢ごとに接種方法が異なります。標準スケジュールから外れた場合はお問い合わせください。
(注2) 生年月日が「平成15年4月2日～平成19年4月1日」の間にある人に限り、20歳未満まで未接種分を接種できます。
(注3) 子宮頸がん予防ワクチンについて サーバリックス(2価):初回接種の1か月後と6か月後に追加接種(計3回)
ガーダシル(4価)、シルガード9(9価):初回接種の2か月後と6か月後に追加接種(計3回)
(注4) 救済措置について 生年月日が「平成9年4月2日～平成19年4月1日」の間の女性に限り、令和7年3月31日まで未接種分を接種できます。

乳幼児健康診査

問 こども家庭支援担当 (☎866-8466 fax 866-8473)

区役所5階
持 母子健康手帳、個別通知に同封の間診票(記入して持参)、オムツの替え

※事前に個別通知を送付。指定日に来られない場合は指定日以降の別の日(個別通知で確認)でも可。

4か月児 【受付時間】火曜(月2回) 午前の指定時間

【内容】計測、診察、育児相談(育児、離乳食、口腔ケア)
持(上記に加えて)バスタオル

1歳6か月児 【受付時間】木曜(月3回) 12時45分～13時45分

【内容】計測、診察、歯科健診、育児相談(しつけ、食事、歯、発達)ほか
持(上記に加えて)子どもの歯ブラシ

3歳児 【受付時間】金曜(月3回) 12時45分～13時45分

【内容】尿検査、計測、診察、歯科健診、育児相談(しつけ、食事、歯、発達)ほか
持(上記に加えて)子どもの歯ブラシ、当日の尿

子育て相談・教室

問 こども家庭支援担当 (☎866-8469～70 fax 866-8473)

遊び場・しゃべり場・ほっとタイム 一部予約制

室内遊びと子育て支援者(子育ての先輩ママ)による育児相談です。

Table with 2 columns: 施設名, 曜日. Lists various community centers and their operating days.

☎午前(時間は会場により異なります)
※原宿地域ケアプラザのみ14時～16時(片づけ時間を含む)
※時間や定員を変更する場合があります。
HPを必ずご確認ください。
HP [戸塚区 遊び場しゃべり場ほっとタイム] で [検索]

(注1) 第3月曜のみ翌日
(注2) 月曜が祝日の場合と奇数月第2月曜は翌日
(注3) 第3木曜のみ東戸塚地区センターで実施
※祝日や各休館日はお休みです。

ひよこ会(赤ちゃん教室) 一部予約制

子育ての仲間づくり、育児のお話。区内19会場で月1回程度開催。詳細はHP参照
区内在住の0歳児(第一子のみ)と保護者

問 こども家庭支援担当 (☎866-8472 fax 866-8473)

こども家庭相談

妊娠期・乳幼児期から学齢期までの子育て相談ができます。

問 こども家庭支援担当 (☎866-8466 fax 866-8473)

乳幼児・妊産婦歯科相談 原則火曜(月1回)13時15分～14時30分 予約制

区役所5階歯科相談室
0歳～未就学児、妊娠中か産後1年未満の人:先着各25人(妊産婦は5人まで)
持 母子健康手帳、歯ブラシ

問 健康づくり係 (☎866-8426～7 fax 865-3963)

申 予約は前月11日から受付開始(土・日曜・祝日の場合は翌開庁日)

はじめての歯ぴか教室 原則金曜(月1回)10時～11時30分 予約制

区役所5階健康診査室
4～6か月児と保護者:先着各15組
持 母子健康手帳、バスタオル

離乳食教室 原則水曜(月1回)13時30分～14時30分 予約制

区役所5階栄養相談室
7～8か月児と保護者:先着14組
持 だっこひも、赤ちゃん用エプロン、赤ちゃん用スプーン

乳幼児食生活相談 原則水曜(月2回)9時～11時 予約制

区役所5階栄養相談室
0歳～未就学児の保護者
持 母子健康手帳

幼児の食育教室 予約制

6月28日、9月27日、12月6日、2024年3月27日(水)13時30分～14時30分
区役所5階栄養相談室
1歳6か月～2歳6か月児と保護者:先着14組

「これって虐待?」「あの親子が心配」そうと思ったら相談を...

よこはま子ども虐待ホットライン(匿名可) 0120-805-240 (24時間365日)

医療給付制度

問 保険係 (☎866-8450 fax 871-5809)

小児医療

【給付対象】 中学3年生まで(3歳児以上は所得制限あり)
¥自己負担なし(ただし年齢や保護者の所得に応じて外来のみ1回最大500円) ※2023年3月時点。

ひとり親家庭等医療

【給付対象】 ひとり親家庭などの児童とその親・養育者(所得制限あり)
☑児童が18歳に達した年度末まで。ただし、所定の条件を満たせば20歳未満まで ¥自己負担なし

重度障害者医療

【給付対象】 身体障害者手帳1級・2級、愛の手帳A1・A2、愛の手帳B1かつ身体障害者手帳3級、精神障害者手帳1級の交付を受けている人(精神障害者手帳1級の方は通院のみ対象) ¥自己負担なし

問 こども家庭係 (☎866-8466 fax 866-8473)

自立支援医療(育成医療)

【給付対象】 視覚障害、聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、心臓機能障害、腎臓機能障害、小腸機能障害、肝機能障害、その他の内臓機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害 [指定医療機関のみ]
☑18歳未満 ¥所得に応じて自己負担あり(所得制限あり)

未熟児養育医療

【給付対象】 未熟児(出生時2,000g以下、または生活力が特に薄弱な場合) [指定医療機関のみ]
☑1歳の誕生日前々日までの未熟児 ¥自己負担なし

小児慢性特定疾病

【給付対象】 悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血液疾患、免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患、染色体または遺伝子に変化を伴う「症候群」、皮膚疾患群、骨系統疾患、脈管系疾患(対象基準に該当する場合のみ) [指定医療機関のみ]
☑18歳未満(20歳未満まで延長可) ¥所得に応じて自己負担あり

問 障害者支援担当 (☎866-8463~5 fax 881-1755)

自立支援医療(更生医療)

【給付対象】 身体障害者手帳をお持ちの人が、障害を軽減したり、機能を回復するための医療を受ける場合 [指定医療機関のみ]
☑18歳以上 ¥所得に応じて自己負担あり(所得制限あり)

自立支援医療(精神通院)

【給付対象】 精神疾患(統合失調症、そううつ病、てんかんなど) [指定医療機関のみ]
☑年齢制限なし ¥所得に応じて自己負担あり(所得制限あり)
※郵送での申請も可。詳しくは、市 HPを参照か、精神通院医療・手帳事務処理センターへ
(〒231-0005 中区本町6-50-10 ☎671-3623 fax 662-3525)
HP 横浜市 精神通院医療 で 検索

問 高齢・障害係 (☎866-8429 fax 881-1755)

特定医療費(指定難病)助成(旧特定疾患医療)

【給付対象】 潰瘍性大腸炎、パーキンソン病、全身性エリテマトーデスなどの338疾患(認定基準あり) [指定医療機関のみ]
☑年齢制限なし ¥自己負担あり

先天性血液凝固因子障害等医療

【給付対象】 血友病など11疾患
☑原則20歳以上(18歳未満は小児慢性特定疾病の対象)

飼い犬の登録と狂犬病予防注射

問 環境衛生係 (☎866-8476 fax 866-2513)

生後91日以上の子犬には、生涯1回の登録と毎年1回の狂犬病予防注射の接種が義務付けられています。
狂犬病予防注射は動物病院か出張会場で必ず受けてください。

犬の登録をしている人には3月中に「お知らせ」の封書が届きます【「お知らせ」に入っているもの】

- 申請書(3連の用紙) ●対象動物病院一覧(対象動物病院では、接種当日に狂犬病予防注射済票の交付が受けられます) ●出張会場一覧 など
※詳細は「お知らせ」の封書や横浜市動物愛護センターホームページでご確認ください。
HP 横浜市動物愛護センター で 検索

1 対象動物病院で狂犬病予防注射を受ける場合

☑申請書(3連の用紙。切り離さずにお持ちください)
¥注射料金+注射済票交付手数料(550円)
※注射料金は動物病院ごとに異なります。
※犬の登録をしていない場合は、注射と合わせて登録ができます(登録手数料3,000円)。
※その他の動物病院では犬の登録と注射済票の交付を受けられません。注射済証明書が発行されますので、区役所6階64番窓口を持参のうえ手続をしてください(各手数料は同額です)。

2 出張会場で狂犬病予防注射を受ける場合

Table with 3 columns: 日程(4月), 時間, 出張会場. Rows include 19日(水), 20日(木), 22日(土), 25日(火) with specific times and locations like 踊場公園 and 品濃中央公園.

☑申請書(3連の用紙。切り離さずにお持ちください)
¥3,650円(注射料金3,100円+注射済票交付手数料550円)

【ご注意ください】出張会場では申請書がないと注射を受けられません。申請書をお持ちでない場合は事前に区役所へお問い合わせください。
横浜市内に犬の登録がない場合は、区役所で新規登録や転入の手続を済ませ、申請書(3連の用紙)の発行を受けてからご来場ください。
※車での来場はご遠慮ください。駐車場がない場合があります。
※荒天時(警報発表時)や新型コロナウイルス感染症拡大状況などにより、中止する場合があります(横浜市動物愛護センターホームページなどでご確認ください)。

ハチの巣の相談

問 環境衛生係 (☎866-8476 fax 866-2513)

毎年5月ごろから秋にかけて、ハチが巣をつくる時期になります。巣が大きくなると、駆除の危険度・費用が増します。巣をつくられやすい軒下や庭木などを点検し、早期発見・早期駆除を心掛けましょう。
区役所では個人宅の巣の駆除は行っていませんが、ハチの種類に応じた駆除方法、専門業者の案内、器具の貸出しなどを行っていますのでご相談ください。

福祉保健センター以外の業務

犬や猫などの死体

問 資源循環局戸塚事務所 (☎824-2580 fax 824-2820)
●路上などで犬や猫などの動物の死体を見つけた場合……無料
●ペットの合同火葬を希望する場合……有料

粗大ごみの申込み

問 粗大ごみ受付センター (☎月~土曜・祝日(年末年始を除く)8時30分~17時)
●一般加入電話などから ☎0570-200-530
●携帯電話・IP電話などから ☎045-330-3953
●ファクスの場合(聴覚・言語に障害のある人専用) fax 550-3599

夜間・休日急患診療所

Table with 4 columns: 医療機関名, 診療科目, 診察日時, 所在地・電話番号. Rows include 戸塚休日急患診療所, 横浜市夜間急病センター, 横浜市南西部夜間急病センター, 横浜市歯科保健医療センター.

☑健康保険証

救急医療情報・相談

横浜市救急相談センター 24時間体制

☎ #7119 または 045-232-7119
●医療機関案内(1番を選択)
救急受診できる病院・診療所を知りたい
※ファクスの場合(聴覚・言語に障害のある人専用) fax 242-3808
●救急電話相談(2番を選択)
今すぐに受診すべきか、救急車を呼ぶべきか
※緊急時はすぐに119番で救急車を呼びましょう!

救急受診ガイド

※スマートフォンなどからも緊急性や受診の必要性を確認できます。
※冊子版もあります(消防署で配布)



地域医療連携センター(横浜市医師会)

☎ 201-8712 fax 201-8768 ☎平日:9時~12時, 13時~17時
かかりつけ医など、近くの医療機関の案内